

C. 学校生活における時間と空間の利用についての研究

— 本校における施設・設備の使用の実態と検討 —

天野菊三郎・中根 一芳・加藤 貞夫
高橋 恵亮・杉山 光男・服部 晴子

< 要 旨 >

本校に於ける施設・設備の役割を調査・分析し、そ

れを通して教育活動がもっとも効果的になるように資する。

1. 教室・施設の配置と利用

面積と使用状況について

建物を次の様に分類して、普通教室全体の面積を基準にしてその割合を調べてみた。

普通教室	特別教室	準備室	生徒が使う部屋	管理室	廊下	階段	体育館	体育館附帯施設	屋上	プール	舗装運動場	その他
100	137	56	49	51	105	35	69	35	83	92	194	23

特別教室……総合、技術、家庭、教育工学、社会科学、音楽、美術、視聴覚、物理、化学、生物、理科

準備室……技術、家庭、音楽、美術、理科(4つ) 暗室、研究室(3つ)

生徒の利用するもの……生徒会室(2つ)、脱靴室、パントハウス、放送室、図書館、売店、保健室

管理室……校長室、会議室、事務室、教官室、応接室、宿直室、用務員室、面接室、倉庫、校史資料室、教官閲覧室(司書室)

体育館附帯施設……体育教官室、器具庫、ステージ更衣室、廊下

その他……自転車置場、外倉庫、渡り、ガスメーター室、シャワー室、プール機械室

これらがある時間帯にどの位の人数の生徒の利用に供しているかは一昨年の発表に見られる通りである。

さて本校の施設の特徴は特別教室の豊富なこと、例えば暗幕の引ける教室が7つ、準備室が2つ。

技家の教室と準備室で43%、理科関係の占める面積が57%、両者合わせて普通教室全体に当たるのである。

ではこれらがどの程度使われているかクラブ活動等を除いて、一週間の使用時間数を次に示す。

	社会科学教室	生物教室	化学教室	物理教室	理科教室	音楽教室	美術教室	家庭科教室	技術教室	視聴覚教室
使用時間	29	16	16	17	22	18	18	13	9	13

一方、普通教室は週当中学生で14~15時間、高校1年が25時間、高校2年が18時間となり、高校3年はクラス単位で普通教室で行なう授業が8時間であるが選択授業、能力別編成の授業等で15時間普通教室を使っている。

特別教室の設備は完備したとはいえないが一応は出来ている。

使用するに及んで順次内部の充実を計ると共に、利用度の低いものが無視出来ず学校という所の難しい面がある。本校では中高合体の為比較的利用度は高く、学級数からみると同じ実験は回数を重ねる事は少ない。

最終的には予算の壁に行き当たるが、限られた金額の枠内で有効にそれを利用するに、学校の設備は利用し易いもの、高価であっても、操作が簡単で堅牢なものとし、稀にしか使わなくても入用なものなるべく揃える。

体育に限っても、理科に限ってもすべての施設、設備がすべての備品と共に働く訳ではないが、欠けると不便を来たすのは必定である。少なくとも今まであった物品がなくなると都合が悪く、堆積してゆく施設、設備をどの様に整理、総合し、ある時点で捨てるかが今後の課題となろう。